

たいない

議会だより

No.66

令和2年11月13日
(2020年)

【題字】桐生 もも さん

鉾江 在住の 坂上さんファミリー

左から

富美奈 (ふみな) さん 小1

恵美奈 (えみな) さん 小3

和孝 (かずたか) さん 小6

決算審査特別委員会
任期後半の議会人事
一般質問 (6人)

議決結果

常任委員会審査

閉会中所管事務調査報告

中1八回一ワーク職ナビ報告

2~4ページ

5ページ

6~11ページ

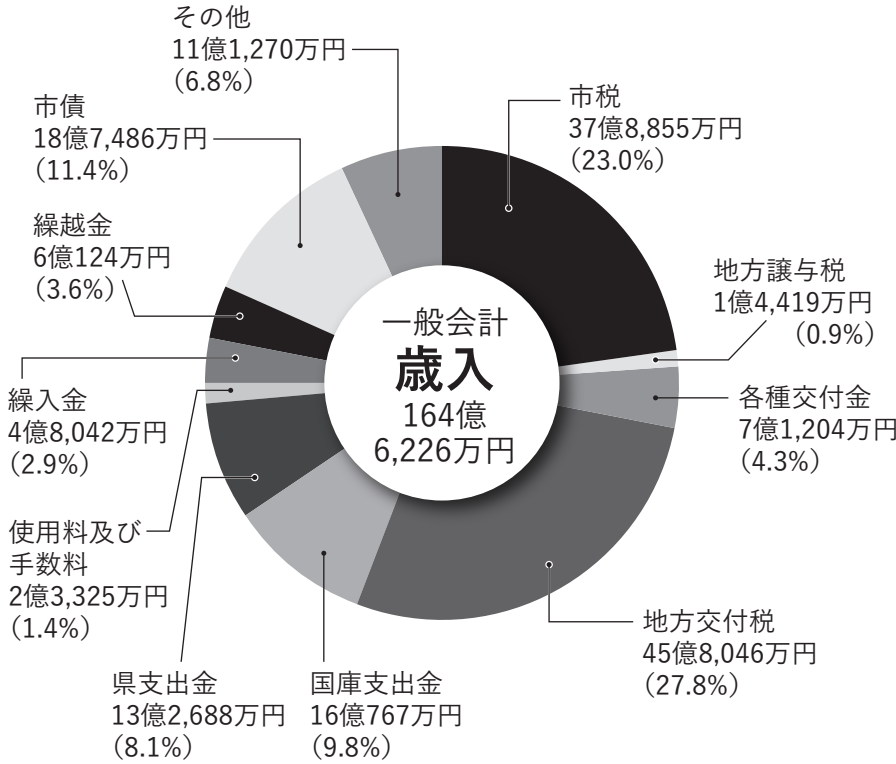
12ページ

13ページ

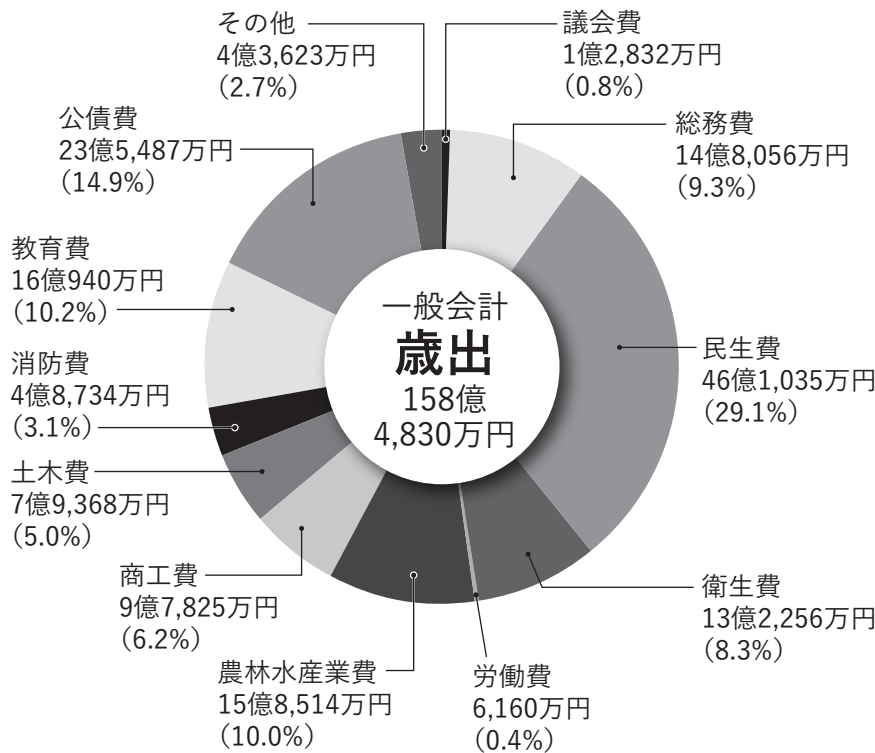
14~15ページ

15ページ

令和元年度 歳入歳出決算を認定



令和2年第3回定例会は、9月3日から10月2日までの30日間にわたり開催されました。今定例会には、補正予算15件、条例の一部改正3件、条例の制定3件、決算の認定12件、人事案件5件、その他1件が市長から提出されました。また、議員からは、発議3件が提案され審議の結果、全て



原案のとおり、可決（認定）されました。令和元年度の一般会計決算の状況は、歳入総額164億6千226万円、歳出総額158億4千830万円、増額でした。歳出総額では、158億4千830万円（0.3%）の増額となり、歳入総額164億6千226万円（0.2%）の増額となりました。

◎各会計の決算状況と採決の結果

会 計		歳 入	歳 出	採決結果
一 般 会 計		164億6,226万円	158億4,830万円	認定
特 別 会 計	国民健康保険事業	31億7,150万円	30億8,738万円	認定
	後期高齢者医療	2億9,928万円	2億9,801万円	認定
	介護保険事業	36億8,597万円	35億7,204万円	認定
	黒川診療所運営事業	6,616万円	6,299万円	認定
	農業集落排水事業	6億6,541万円	6億5,371万円	認定
	簡易水道事業	1億7,341万円	1億3,906万円	認定
	地域産業振興事業	4億8,186万円	4億8,158万円	認定
	鹿ノ俣発電所運営事業	1億8,553万円	1億7,072万円	認定
企 業 会 計	公共下水道事業	11億7,428万円	9億5,732万円	認定
	水道事業	6億9,180万円	5億8,273万円	認定
	工業用水道事業	1,252万円	908万円	認定
合 計		270億6,998万円	258億6,292万円	
前 年 比		100.8%	101.3%	

※企業会計は、収益的収支（営業に関わる活動）を記載しています。
 ※1万円未満は、四捨五入のため、合計が合わない場合があります。

令和元年度胎内市一般会計をはじめとする12会計の決算について、議長と監査委員を除く全議員で構成する決算審査特別委員会を設置し、3日間にわたり審議を行いました。主な質疑を紹介します。

一般会計

総務費

質問 ふるさと納税返礼品について、補正をしたのに関わらず、不用額がた要因は。

答弁 お米など、支出が次年度にまわる返礼品があったことや予算が不足しないよう多めに予算措置したことが要因である。

質問 ふるさと納税業務委託料の支出の仕組みは。

答弁 寄附金額に応じて、一定割合を支出する契約をしている。

質問 デマンドタクシーの利用者が前年比で約3千500人減少しているが、その要因は。

答弁 利用者数の推移では、特に11月以降の減少が目立った。暖冬少雪により、自転車・徒歩等で移動ができたこと。また、コロナウイルス感染症により、

外出自粛によるものが一番の要因と分析している。

質問 高齢者で運転免許証を自主返納した人数は。

答弁 平成30年度は86人、令和元年度は129人から返納があった。割合では、80～84歳が一番多く35・8%、70～79歳が25・3%であった。





民生費

質問 前年度から第三の居場所事業がスタートしたが、利用者数や第三の居場所の開設によりどのような変化があったのか。

答弁 この事業は同一施設内の放課後児童クラブと連携して実施しており、対象児童は5人であった。成果として、児童への学習支援をはじめ、支援員と保護者が関わりを持つことで児童のおかれている状況が改善してきている。

質問 新規に福祉まるごと相談事業が始まったが、その実績は。

答弁 相談の実人数は60人であった。50代の相談者が一番多く、1人の方が複数の問題を同時に抱えているケースが多い。

農林水産業費

質問 野猿対策の電気柵設置補助金の申請件数は。

答弁 8件（個人6件、団体2件）の申請があった。地区別では、楸江2件、夏井3件、鼓岡2件、持倉1件であった。

特別会計

国民健康保険事業

質問 高額療養費が前年度と比べ、約500万円増額しているが、その原因は。

答弁 80万円以上の高額療養費を分析すると、腎不全の医療費は減少しているが、癌や脳血管系の医療費が増額している。特に高額医療の癌患者は、前年より11名増えて67名であった。

企業会計

水道事業

質問 水道と簡易水道の水質の違いはあるのか。

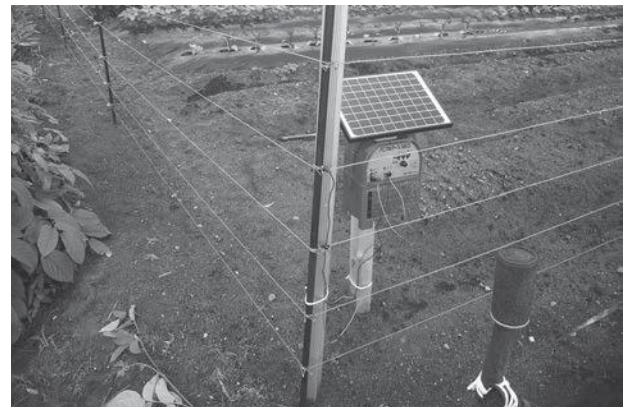
答弁 水道は、荒川の表流水と並槻地内の井戸水を混ぜ合わせ薬品を使用しない自然に近いろ過方法で浄水している。簡易水道は、鼓岡地内の井戸から取水している。どちらも水質基準を満たしており安心して飲める。



教育費

質問 中学校の修学旅行取消料が計上されているが、その後の対応は。

答弁 全ての中学校で修学旅行を延期とし、本年秋季に計画していたが、コロナ禍の現状から縮小または取り止めとし、それに代わる活動を各中学校で計画している。現時点では、ロイヤル胎内パークホテルに宿泊して体験活動を行う学校、県内日帰りで活動を行う学校のほか、2校については検討中である。



野猿対策用の電気柵



副議長／渡辺 栄六 議長／天木 義人 監査委員／八幡 元弘



任期後半の新体制スタート

総務文教常任委員会

- | | |
|---------|-------|
| ◎ 坂上 清一 | 渡辺 栄六 |
| ○ 森本 将司 | 小野 徳重 |
| 丸山 孝博 | 渡辺 秀敏 |
| 渡辺 宏行 | 八幡 元弘 |
| 森田 幸衛 | |

厚生環境常任委員会

- | | |
|----------|--------|
| ◎ 渡辺 秀敏 | 薄田 智 |
| ○ 桐生 清太郎 | 森本 将司 |
| 丸山 孝博 | 羽田野 孝子 |
| 渡辺 俊 | 坂上 隆夫 |
| 森田 幸衛 | |

まちづくり常任委員会

- | | |
|----------|-------|
| ◎ 小野 徳重 | 薄田 智 |
| ○ 羽田野 孝子 | 渡辺 栄六 |
| 渡辺 宏行 | 坂上 清一 |
| 桐生 清太郎 | 八幡 元弘 |
| 渡辺 俊 | 坂上 隆夫 |

議会運営委員会

- | | |
|---------|------|
| ◎ 森田 幸衛 | 渡辺 俊 |
| ○ 丸山 孝博 | 薄田 智 |
| 渡辺 宏行 | |

議会報編集特別委員会

- | | |
|---------|--------|
| ◎ 渡辺 栄六 | 渡辺 秀敏 |
| ○ 坂上 隆夫 | 森本 将司 |
| 坂上 清一 | 羽田野 孝子 |

新発田広域事務組合議会議員

- | | |
|-------|-------|
| 天木 義人 | 坂上 清一 |
| 渡辺 栄六 | 渡辺 秀敏 |

新潟県後期高齢者医療 広域連合議会議員

渡辺 秀敏



《◎: 委員長 ○: 副委員長》



羽田野 孝子 議員

新型コロナウイルス感染者 発生時の具体的対策について

議員 自分が感染したり濃厚接触者になったらどうなるかという不安が聞かれる。対応について市報で知らせるべきでは。

市長 発生したケースによって様々な対応が求められるので、保健所と連携し、迅速に情報提供を行っていく。

議員 市内の病院への新規入院者、介護施設の新規入所者への抗原検査、PCR検査費用の補助はできないか。

市長 中条中央病院では、入院時に発熱等がある場合には抗原検査、PCR検査を行い、その料金は無料になる。介護施設の入所者に発熱の症状が出た場合



中条中央病院

に実施する検査費用は、全額公費で賄うことになる。

議員 中条中央病院でPCR検査を受けた人数は。

健康づくり課長 新規入院者は全員受けている。自費で検査を受けた人は数件である。

公営住宅の待機問題 について

議員 公営住宅入居申し込み時に付き添ったが1年から2年待ってもらおうとの説明であった。利用状況と待機者の実態は。

市長 管理戸数は県営・市営合わせて447戸、うち老朽化等使えない住宅が62戸あり、入居率は約97%。待機者は68名である。

議員 公営住宅を回ってみて空き部屋があつたが、利用できないのか。

市長 修繕が必要な住宅であり今後、長寿命化計画との整合性も踏まえながら対応していく。



市設長橋住宅

議員 中条地区の公営住宅で昨年1年間の入退去の状況は。
福祉介護課長 二葉町の住宅は入居3戸、退去7戸。県営の鳥坂住宅は入居1戸、退去2戸。長橋住宅は入居0、退去2戸である。

特別養護老人ホーム新設の 方向づけについて

議員 待機者数は。多床室を増やしてほしいが現在建設の予定はあるか。

市長 市内5つの特別養護老人ホームの待機者は77人。建設を予定している社会福祉法人はない。国の方針にそったユニット型個室の整備を基本に考えている。

議員 軽減措置を受けることにより、月4万3千円で入所している人数は。

福祉介護課長 特別養護老人ホームとつさに、現在7名の市民の方が入所している。



渡辺 宏行 議員

新型コロナウイルス感染症対策について

議員 新型コロナウイルス感染症とこれから冬にかけて流行するインフルエンザの同時流行に備え、インフルエンザ予防接種費用の助成対象範囲を妊婦などにも拡大する考えは。

るといわれているが、市長が掲げる市民協働、選択と集中、未来への投資を軸とした、アフターコロナ社会に向けての戦略について考えは。

市長 ワクチン確保の兼ね合いの中で高齢者に対する全額助成や妊婦に対する一定額の助成を行うことについては、前向きに捉えており、可能であれば今議会の最終日に追加提案させていただき、議決を経て速やかに執行したい。

議員 新型コロナウイルス感染症の影響により、社会構造そのものが大きな転換期を迎えている。



質問・答弁の内容、文体は本人の草稿によるものです。

市長 新型コロナウイルスは、一人一人の生き方、ライフスタイルにもかかわっており、働き方改革等を考えていくうえでも決して無関係ではないと思っっている。市民協働、選択と集中、未来への投資は、アフターコロナにおいても異なるところはなく、人と人とのつながりや地域内外の交流をいかにして促進していくかが重要視すべきポイントであると思っっている。

地域要望に対するインフラ整備について

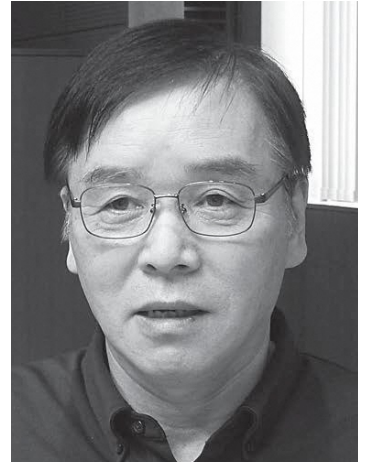
議員 自然災害に備え、各集落から河川の雑木、雑草の除去や河川改修、県道の改良など県に対する陳情・要望が出されていると思うが、県への要望活動とフォローアップについて、また集落への報告は。

市長 毎年、新発田地域振興局に資料を提出し、ヒアリングを通じて説明を行い、事業が完了するまで継続して行っている。集落へは、県からの回答に基づ

きその都度報告している。
議員 星の宮第1地区の側溝整備については、これまで数回にわたり要望書が出されているが一向に進まない状況にある。これらの対応についての考えは。
市長 要望に対する対応については、優先順位を見定めながら順に整備しているが、適宜見直し等も行い、前倒しができるものは可能な限り前倒しをして迅速に対応していく。



星の宮第1地区の側溝



丸山 孝博 議員

スキー場問題は「市民協働」で

議員 今後の新型コロナウイルスの感染拡大、暖冬少雪などについての見通しは立たない状況ではあるが、こうした事態も含め、胎内スキー場運営の在り方について、財政的なシミュレーション等の情報を公開し、これらをもとに市民との意見交換、市民の意見や提案などに耳を傾け、市民みんなで持続可能性について知恵や工夫を出し合う市民協働を進めるべきではないか。

市長 意見交換等が単なる要望会となる可能性がある。スキー場の赤字に対して税金投入に慎重な意見もある。運営に関する

両極端な意見が多くなったりなどして收拾がなくなること想定される。あたかも市民協働で考え、意見交換を行っていくことが正しい道筋であるかどうかは、正直懐疑的に捉えている。



胎内スキー場

国保税等の減免制度の周知徹底について

議員 コロナ禍で国保税等の減免について国が全額財政支援することになった。当市の申請状況はどうか。また、減免制度の周知徹底を行うことについては。

市長 減免申請については8月末時点、国保税で7件、介護保険料が5件、後期高齢者保険料は申請がない。周知としては、市報やホームページでお知らせするとともに、納税通知書の発送時に全ての加入世帯に行ってきたりしている。その他、支援策を講じる部署が互いの支援策を情報共有し、連携して制度を周知する対応をしている。

議員 申請が少ない要因はどこにあると分析しているのか。
市民生活課長 県内の市町村では胎内市は平均的である。周知については、ほかの団体のよい事例なども参考に、いいところを取り入れ周知に努めた。

小中学校の教室に加湿器を

議員 コロナ禍で、小中学校の各教室に加湿器の導入で安心して授業が受けられるようにすべきでは。

市長 平成23年2月にインフルエンザ対策として加湿機能付きの空気清浄機を小中学校の全ての普通教室に配備した。特別教室には配備していないので学校現場の意見を聞きながら対応したい。



市内中学校

地域産業・観光振興事業について



坂上 清一 議員

議員 新潟製粉(株)、胎内高原ハウス(株)、新潟フルーツパーク(株)、(株)胎内リゾートの今後の市財政への影響と対策は。

市長 新潟製粉(株)及び胎内高原ハウス(株)については、今後市の施設の管理を製造委託方式から自主運営に移行していくことで施設の修繕などに要する経費の削減が見込まれる。新潟フルーツパーク(株)は、借入金返済が終了することで補助金などの経費削減が見込まれる。(株)胎内リゾートについては、コロナ禍の影響もあり、現時点では厳しい経営状況ではあるが企業として様々な経営改善に取り組み、リ

ゾートとしての魅力を高め儲かる観光へとかじを切ることで良い方向へ進んでいくと考えたい。



新潟製粉株式会社

新型コロナウイルス感染症に係る支援策について

議員 地方創生臨時交付金等を活用した個人・事業者への支援策について現状での申請数と対象額は。また今後の見通しは。

市長 申請等を受け給付を行う事業が30事業あり、地域商品券事業は第1弾、第2弾ともに完売した。その他の支援事業では、申請数が延べ770件、給付総額で4千200万円となっている。今後の見通しとしては、事業者の減収に対する支援として行う中小企業等事業者給付金、減収対策支援交付金など今月から受付を開始したものや、これから開始される妊婦特別定額給付金のほか、感染予防対策を行う事業者の増加等により、申請が増える見込みのある中小企業等支援事業補助金のようなケースもある。申請数、給付件数は今後増えていく見込みである。

鳥獣被害の現状と対策等について

議員 鳥獣被害状況及び被害額、また、市の対策は。

市長 昨年度は、猿とカラスの被害が報告され、猿による農作物の被害面積は40・7ヘクタールであった。被害額は、139万5千円であるが、実際には、作付け自体を行わない方もいるので数値以上の影響が出ているものと考えられる。さらに、繁殖力の強いイノシシ被害の報告もあり、捕獲機材の充実を図りながら猟友会、JA、市の協力体制によって有効な方策に取り組んでいく。



水害対策について



森田 幸衛 議員

議員 大雨洪水警報が発表された7月31日の落堀川は約50年前の羽越水害後で最高の水位になったが、昨年と今年の6月に長年の課題だった船戸川と落堀川の雑木伐採が実施されていたので大きな被害は発生しなかった。改めて公共事業や政治力の大切さを痛感したが、落堀川の雑木伐採は未だ道半ばである。下流部は新発田市だが継続して要望する考えは。

市長 風水害や土砂災害の場合、河川は上流、中流、下流、左岸と右岸で自治体が異なることはある。県も既に当然考えていると思うが、新発田市と情報



増水時の落堀川

共有をしながら一体となって新発田地域振興局に要望していきたい。

学校給食について

議員 長池直売所が管理する畑に「学校給食応援畑」の看板が設置されたが、学校給食における地元産農産物の使用割合と今後の方針は。

教育長 令和元年度の学校給食において使用した農産物のうち胎内市産は23%で、その中で割合の大きいものは、米が100%、大根が48%、ネギが46%、ゴボウ43%という状況である。今後の方針としては、胎内市教育振興基本計画に掲げた学校給食の地場産の使用割合30%を目標にして引き続き地元産農産物の使用に努めていく。

築地・乙地区の悪臭対策について

議員 長年にわたり周辺住民を苦しめている築地地区、乙地区の悪臭問題の現状と今後の方針は。

市長 先般実施した臭気測定の結果、築地地区では8事業場中5事業場が、乙地区では6事業場全てが規制基準値を超過する芳しくない結果となった。規制基準値を超過した事業場には、原因究明と指定する期限までに改善対策を講じるよう指導し、仮に改善対策が講じられなければ勧告、命令という次の段階への移行も視野に入れた厳しい姿勢で対応していきたい。



学校給食応援畑の看板



子育て支援について

議員 市が行う定額給付金基準日以降の新生児1人当たり10万円の支給を速やかに行うべきと考える。妊婦特別定額給付金の支給対象者及び、基準日以降に生まれた新生児数と出産予定数は。



渡辺 栄六 議員

市長 対象者は国の定額給付金の基準日の翌日となり、4月28日から来年の4月1日までに出生する子である。9月15日現在の出生数は43人であり、今後の出生予定数が75人であり、合計118人を見込んでいる。

「おくやみ窓口」の設置について

議員 身内が亡くなった際の各種手続きを一元化し、必要な手続きを1か所で行える「おくやみ窓口」を設置し遺族の負担軽減を図れないか。

市長 現状では、事前予約など時間の制約がなく来庁できて、随時職員の家内で手続きできるほうがむしろ利便性が高いので

質問・答弁の内容、文体は本人の草稿によるものです。

はないかと考えている。

議員 手続き方法をわかりやすくするため「お悔やみハンドブック」を作成し配布することについては。

市長 市民生活課その他の部署で考え、しっかりと工夫し、改善すべきは改善していく。

豪雨災害対策について

議員 市内で大雨や集中豪雨時に想定される住宅浸水などの危険箇所と対策は。

市長 7月、8月の大雨により住宅浸水した箇所は新栄町、北本町、西本町、若松町、築地、笹口浜である。対策については、被害が繰り返し発生している若松町地内を優先に、地下浸透ますを設置した。未整備地区については、側溝の新設、改良や浸透ます等の設置を検討しており、緊急性が高い地区から順に整備していく。

議員 星の宮町第1地区の排水対策は優先度を具体的に決め、何年計画で進めるとい方向付

けを示すことはできないか。

市長 すぐにできる部分と、すぐにできない部分は明確にしなから進めていくことが大切と思っている。



大雨で道路が冠水した若松町地内

令和2年 第3回定例会議決結果

全会一致で可決(同意)された議案

令和2年度補正予算	条例の一部改正
<ul style="list-style-type: none"> ・一般会計補正予算(第8号) ・一般会計補正予算(第9号) ・一般会計補正予算(第10号) ・国民健康保険事業特別会計補正予算(第1号) ・後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号) ・介護保険事業特別会計補正予算(第2号) ・黒川診療所運営事業特別会計補正予算(第1号) ・地域産業振興事業特別会計補正予算(第1号) ・鹿ノ俣発電所運営事業特別会計補正予算(第1号) ・公共下水道事業会計補正予算(第1号) ・農業集落排水事業会計補正予算(第1号) ・農業集落排水事業会計補正予算(第2号) ・水道事業会計補正予算(第2号) ・簡易水道事業会計補正予算(第1号) ・工業用水道事業会計補正予算(第1号) 	<ul style="list-style-type: none"> ・税条例の一部を改正する条例 ・特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例 ・市設住宅条例の一部を改正する条例
	条例の制定
	<ul style="list-style-type: none"> ・市立小中学校の適正規模等に関する検討委員会条例 ・胎内市新型コロナウイルス感染症対策融資利子補給事業基金条例 ・胎内スキー場運営基金条例
	人事案件
	<ul style="list-style-type: none"> ・教育委員会委員の任命【佐藤康弘氏】 ・固定資産評価審査委員会委員の選任【芦田恵子氏】 ・固定資産評価審査委員会委員の選任【安城栄三郎氏】 ・固定資産評価審査委員会委員の選任【戸根俊英氏】 ・監査委員の選任【八幡元弘氏】
その他	
<ul style="list-style-type: none"> ・令和元年度胎内市水道事業会計未処分利益剰余金の処分について 	
議員提出議案	
<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍における私立高校生の学びを保障し私立高校の教育環境整備を図るため、私学助成増額・拡充を求める意見書(国・県)【提案者：坂上清一 議員】 内容：私立高校生への就学支援制度の拡充と私立高校への経常経費助成の増額を求める意見書を国、県へ要望するもの 	
<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症を理由とする差別や偏見の根絶に関する決議【提案者：小野徳重 議員】 内容：別枠に決議内容を記載 	

※全議案が全会一致で可決されたため、議決賛否表を省略。 ※令和元年度各会計決算の認定については3ページに記載。

新型コロナウイルス感染症を理由とする差別や偏見の根絶に関する決議

新型コロナウイルス感染症が世界中で猛威を振るい、我が国もいまだ収束が見いだせず、かつて経験したことのない危機に直面している。この疾患は、誰しものが感染し得るものであり、本市においても感染者が確認されている。

このような未曾有の事態において、昼夜を問わず医療現場の最前線で奮闘している医療従事者を始め、教育や福祉など各分野で新型コロナウイルスに向き合いながら従事する方々の活躍によって、市民生活の維持に必要な不可欠な機能は支えられている。

一方で、感染者や医療従事者及びその家族や関係する職場や学校に対するインターネット上での心無い書き込みや、いわれのない差別や偏見などが発生している。こうした行為は人の心を傷つける人権侵害であり、決して許されるものではない。

よって、胎内市議会は医療従事者を始め、教育や福祉など各分野で感染症に対峙しながら従事する全ての方々に対して、心から敬意と感謝の意を表するとともに、新型コロナウイルス感染症を理由とする差別や偏見を根絶し、確かな情報に基づき人権に配慮した行動をとることにより、市民が安心して暮らせる地域社会を構築することをここに決議する。

令和2年10月2日

胎内市議会

常任委員会審査

総務文教

胎内市立小中学校の適正規模等に関する検討委員会条例

将来にわたる人口減少に対応した望ましい学校教育環境の整備に向けて、胎内市立小中学校の適正規模及び適正配置について検討を進めるため、附属機関を設置するもの。

質問 委員の任期は諮問から答申までの間ということだが、答申の期限はいつ頃を予定しているのか。

答弁 他の市町村等で諮問を受けて答申までの期間を参考までに見ると概ね7回から9回程度委員会を開催しているの

1年から1



市内の小中学校

年半が一つの目安になると考えている。

付託された他1件についても可決すべきと決定した。

厚生環境

胎内市設住宅条例の一部を改正する条例

老朽化により空き家となつている市設住宅若松町1号及び6号について、その用途を廃止すべく改正を行うもの。内容は、昭和42年と43年に建設した建物であり環境と安全面に配慮し早急に取り壊しを行うべく本条例から削るもの。

質問 市設住宅若松町1号、6号以外はすべて入居しているのか。

答弁 現在も入居している。

質問 入居されている方に退去後は取り壊すことになるなどの

説明はしているのか。

答弁 退去の意向確認は行っているが住み慣れたところで住み続けたいとの意向がある。



胎内市設住宅

付託された他5件についても可決すべきと決定した。

まちづくり

令和元年度胎内市水道事業会計未処分利益剰余金の処分について

令和元年度末の未処分利益剰余金は1億8千623万5千650円で

あり、このうち、1億1万5千14円を減債積立金へ積み立て、8千622万636円を資本金へ組み入れるもの。

質問 減債積立金は、企業債を返済するための積立金と思うが、減債積立を行うメリットは。

答弁 毎年企業債の償還金がおよそ3億円ずつ発生している。令和4年度の企業債の償還ピークに備えて積立金で会計上の負担を軽減しておくというメリットがある。

質問 普通の積立金と比べ減債積立金で行うメリットは。

答弁 水道事業会計の中の内部としてその金額分を減債積立金として起債償還に充てる財源として使えるように取つてあるもので、メリットとすれば会計の運用上の内部留保の中で積立金を処分できることである。

付託された他8件についても可決すべきと決定した。

閉会中所管事務 調査報告

総務文教常任委員会

当委員会では、7月21日、胎内市PTA連絡協議会と「新型コロナウイルス感染症拡大による小中学校への影響等について」をテーマとして、各小中学校の学校行事や勉強、学校での活動などの現状と課題について意見交換会を実施した。

参加者から多くの発言や意見があった中で主だったものは、次の通りである。

- ・情報の共有と迅速な情報提供が必要である。
- ・小中学校の休校や学校行事の開催の可否の基準を示してほしい。
- ・学校関係者に感染者や濃厚接触者が発生した場合の対応マニュアルを示してほしい。
- ・感染者や濃厚接触者のプライバシーの保護が必要である。
- ・手洗い場の水道の蛇口を自動化してほしい。



PTA 連絡協議会との意見交換会

・オンライン授業の速やかな整備と実施を行ってほしい。
参加者からの発言や意見を聞き、保護者の新型コロナウイルスに対する危機感を感じ、これらの意見等を議会の新型コロナウイルスへの対応に反映させる必要を感じた意見交換会であった。

閉会中所管事務 調査報告

厚生環境常任委員会

当委員会では7月28日新型コロナウイルスによる影響と必要とされる支援策について社会福祉協議会と意見交換を行った。

主な影響としては人が集うサロンやほのぼの茶屋といった事業については4月から5月の間は休止し緊急事態宣言解除後は3密回避の対策をして通常の活動を行っているということだった。イベントや講座については開催延期や中止の措置をとったということである。

必要とされる支援については新型コロナウイルス感染症の終息が見えず長期的な対応が求められることから、マスクやアルコール消毒液などの物資の要望があった。設備面においては蛇口に触らなくてもよい自動給水化や、ほっとHOT・中条で感染者が出た際に業務に支障をきたさない為のリモートワークに



社会福祉協議会との意見交換会

についても意見が出た。
また現在、新型コロナウイルスにより失業や収入が減少した生活困窮者の相談が増加しており既存の体制では人員が不足しているとのことであった。
社会福祉協議会の活動は市の福祉活動の根幹を担っていることから、しっかりとした対応を行う必要性を強く感じた。

閉会中所管事務 調査報告

まちづくり常任委員会

当委員会では、7月16日に新型コロナウイルスに関する事業者アンケートの調査結果について商工会との意見交換会及び*1上工下水道事業の民間への業務委託導入可能性調査について上水道課に説明を求め、調査を行った。

『商工会との意見交換会』

商工会が行った新型コロナウイルスの回収率は35・6%で279事業所からの回答があり、203の事業所において昨年より売り上げが減少しているとのことであった。意見としては持続化給付金の要件を満たさなかった場合の市による救済や市が行った支援金について業種を限定せずに公平に行っていたいただきたいとの要望が最も多く挙がっていた。



*1 上工下水道…上水道・工業用水道・下水道の総称

『上工下水道事業の民間資金活用事業調査費補助事業について』
上水道課が行った上工下水道事業の民間資金等の導入可能性に関する調査の結果であるが、概要としては、運転維持管理・会計補助・窓口対応・営業の4項目を包括的に民間に委託する方法であり、4社に対して調査を行った結果、各社とも関心が高いことが確認された。委託により年間約2千万円のコスト削減が図れるとのことである。

市内中学生34名が議会に訪れました！

10月14日(水)、市内の中学1年生が地域の事業所や団体などの様々な仕事を学ぶイベント『中学1年生の職ナビゲーション』が開催され、胎内市議会も参加しました。

当日は、3つの中学校から計34名が市議会に訪れ、議会の仕事や仕組みについて説明しました。説明後には、本会議場や委員会室、全員協議会室、正副議長室などを見学していただきました。

参加した生徒からは「仕事をするうえで大切にしていることは何ですか」、「この仕事に資格は必要ですか」、「臨時議会は、どんな時に開かれるのですか」など、たくさんの質問を受けました。

今回の体験が生徒自身の将来を考えるきっかけになって欲しいと思います。



本会議場にてお出迎え



生徒からたくさんの質問を受けました

令和2年11月13日 発行責任者 議長 天木義人



令和2年第4回定例議会日程(予定)

- 11月 24日 議会運営委員会
- 30日 本会議(初日)
- 12月 10日 総務文教常任委員会
- 11日 厚生環境常任委員会
- 14日 まちづくり常任委員会
- 17・18日 本会議(一般質問)
- 22日 本会議(最終日)

私が最近がんばっていることは、マラソンです。記録会に向けて、放課後も走っています。クラスのみんなから応援されると、とても力が出ます。これからも、みんなを上げまし合い、高め合っていきたいです。



黒川小学校 6年生
桐生 ももさん
の作品です。

表紙の写真

「胎内市の未来を担う子どもたち」

私の将来の夢は……

- 坂上 和孝さん (小6) そろばん職人
- 恵美奈さん (小3) 洋服屋さん
- 富美奈さん (小1) ケーキ屋さん

FAX (0254) 4316111 (0254) 4417875

T 959-2693 新潟県胎内市新和町2番10号

印刷/株式会社エンジュ

胎内市議会 フェイスブック



市議会の活動や話題を発信していきます。ぜひ、ご覧ください。

行政情報発信アプリ マチイロ



「たいたい議会だより」をスマートフォン等からご覧いただけます。



本会議をライブ中継で配信中です!

次の本会議は、11月30日(月)・12月22日(火)、
一般質問は、12月17日(木)・18日(金)に午前10時から配信予定。
詳しくは、市ホームページ「市議会」をご覧ください。

議会報編集特別委員会 新メンバー



上段左から 渡辺秀敏委員、坂上清一委員、森本将司委員
下段左から 坂上隆夫副委員長、渡辺栄六委員長、羽田野孝子委員

編集後記

このたび議会人事の改選があり、新たな6人のメンバーで議会報編集に携わってまいります。
また、これまで議会モニター会議が開催された中で、議会報に関する多くのご意見もいただきました。これからもモニターさんの貴重なご意見を参考にして、より市民の皆さまに親しんでいただける紙面作りを心がけてまいりますのでどうぞ、ご愛読して下さい。(渡辺 栄六 記)